

# 2005年 グリッドとの取り組み



株式会社グリッド総合研究所  
西 克也

SYSTEMS

## グリッド総合研究所とは？

- ◆ 2002年3月に産業技術研究所(AIST)発ベンチャー企業として創業(AISTベンチャー認定企業)
- ◆ グリッド技術の事業化が目的
- ◆ 株式会社ベストシステムズの100%出資子会社
- ◆ 事業内容:
  - ◆ グリッド製品販売・サポート
  - ◆ システム開発
  - ◆ システム構築インテグレーション



(例)AccessGridシステム

## 今何がグリッドの問題か？

グリッドって一体何なの？

商用ソフトウェアだとノード数が増えれば増えるほどコストが増えちゃう…

種類が多すぎて何がなんだかわからない

フリーソフトは安定しないし…面倒

自分のシステムがどのグリッドに適しているかわからない

思ったほど効果があがらない…



3

## それなら！

🏠 シンプルだけど、高機能、高効率！

🏠 ライセンスフリーだけど、有償サポートもオプションである！

🏠 多様な環境に適合するけど、管理は簡単！



4

2005年、グリッド総合研究所が注力するのは？

# Condor

## Condorとは？

- ◆ 米国ウィスコンシン大学マディソン校における Condor Research Project(1985年開始)により開発、配布が行われている
- ◆ ライセンスフリーなソフトウェア
- ◆ Prof.Miron Livnyがリーダー



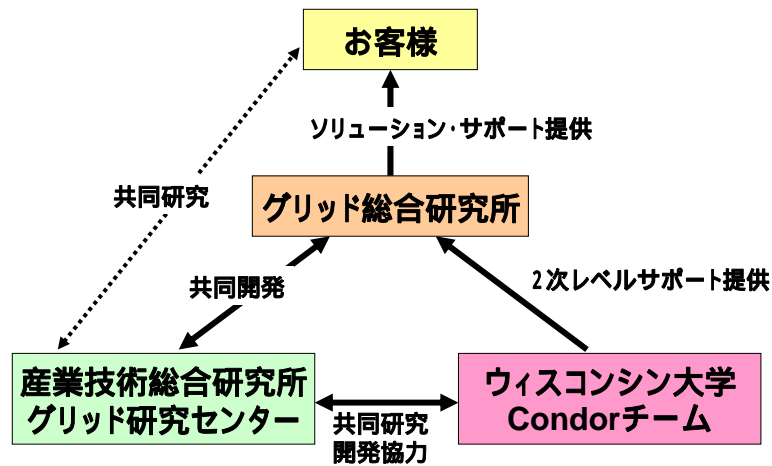
## Condorとは？

- ◆ ジョブスケジューラシステム
- ◆ HTC(High Throughput Computing)を念頭に開発
- ◆ "ClassAd"によるマッチメイキング(Condorプール)
- ◆ 様々な機能
  - ◆ ポリシーベーススケジューリング
  - ◆ チェックポイント
  - ◆ Preemption . . . . . などなど

## Condorとグリッド総研

- ◆ 産総研(AIST) - ウィスコンシン大学ーグリッド総研 3者での開発体制を組織
  - ◆ Condorへの新機能のインプリメンテーション
  - ◆ Condorの顧客用カスタマイズ
- ◆ ウィスコンシン大学ーグリッド総研 2者間でのサポート契約を2004年12月に締結
  - ◆ 有償でのサポートを提供 商用ソフトウェアへの接近

## 開発・サポート体制



## 価格(3月まで限定価格！)

### ◆ インストール料金

◆ ~ 256CPU: ¥300,000

◆ ~ 512CPU: ¥450,000

◆ ~ 1024CPU: ¥600,000

◆ 条件: Central ManagerおよびPoolは1個のみ。インストールはNFS、RCP、RSHの環境が整備されていること。年間サポートへの加入。交通費別途。

### ◆ 年間サポート: ¥2,500 / CPU

◆ 電話、電子メールによる対応(平日9:00~17:00)

## 2005年

- ◆ 様々なグリッド環境の展開
  - ◆ Condorを中心とした展開
  - ◆ 顧客要望による各種グリッドシステムのコンサルテーション、構築、サポート
  
- ◆ PCクラスタ(ベストシステムズ)に特化した展開
  - ◆ PCクラスタにおけるフリーで高効率なスケジューラの提供
  - ◆ ノード数に依存しないライセンス形態